

市議会だより

四万十市

議会だより



No.74
2023.8.1 発行



～もくじ～

- 議案 ... 1ページ
- 一般質問 ... 3ページ
- トピックス ... 18ページ

令和5年6月定例会

四万十市議会 6月定例会は、6月12日に開会し、6月27日までの16日間の会期で開催されました。今期の定例会には、「専決処分の承認」5件、「令和5年度補正予算」3件、「条例の改正」3件、「工事請負契約の一部変更」3件、「その他」9件、諮問3件の議案が提出され、慎重に審議を行いました。

一般質問では、14名が「防災、減災対策」、「マイナンバー制度」、「子育て支援、学校教育」などについて質問を行いました。

議案番号	件 名	結果
1	専決処分の承認を求ることについて(令和5年度四万十市一般会計補正予算(第1号))	全会一致承認
2	専決処分の承認を求ることについて(令和5年度四万十市国民健康保険会計診療施設勘定補正予算(第1号))	全会一致承認
3	専決処分の承認を求ることについて(四万十市税条例の一部を改正する条例)	全会一致承認
4	専決処分の承認を求ることについて(四万十市固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例)	全会一致承認
5	専決処分の承認を求ることについて(四万十市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	全会一致承認
6	令和5年度四万十市一般会計補正予算(第2号)について	全会一致可決
7	令和5年度四万十市と畜場会計補正予算(第1号)について	全会一致可決
8	令和5年度四万十市介護保険会計保険事業勘定補正予算(第1号)について	全会一致可決
9	四万十市税条例の一部を改正する条例	全会一致可決
10	四万十市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	全会一致可決
11	四万十市介護保険条例の一部を改正する条例	全会一致可決
12	工事請負契約の一部変更について	全会一致可決
13	工事請負契約の一部変更について	全会一致可決
14	工事請負契約の一部変更について	全会一致可決
15	損害賠償の額の決定及び和解について	全会一致可決
16	損害賠償の額の決定及び和解について	全会一致可決
17	固定資産評価員の選任について(山崎行伸)	全会一致同意
18	固定資産評価審査委員会委員の選任について(中脇裕美)	全会一致同意
19	固定資産評価審査委員会委員の選任について(中平晋祐)	全会一致同意
20	固定資産評価審査委員会委員の選任について(門田勝利)	全会一致同意
21	固定資産評価審査委員会委員の選任について(岡田志津)	全会一致同意
22	固定資産評価審査委員会委員の選任について(宮村喜久)	全会一致同意
23	固定資産評価審査委員会委員の選任について(三浦治)	全会一致同意

諮詢1	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めるについて(助村通俊)	全会一致同意
諮詢2	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めるについて(芝 雅人)	全会一致同意
諮詢3	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めるについて(吉本千史)	全会一致同意

■陳情

委員会名	受理番号	件 名	結果
総務	1	旧下田中学校校舎等を中心とした下田地域の防災や活性化策等について	継続審査

「住民と議会との懇談会」を開催します

このたび、「令和5年度 住民と議会との懇談会」を、下記のとおり開催することいたしました。

今回の開催は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行されたことに伴い、令和元年度以来の開催となります。

懇談会では、はじめに議会の活動内容等について報告を行った後、様々な意見交換を行いたいと考えてあります。

開催場所、開催日時が決定次第、回覧文書等でお知らせさせていただきますので、気軽にご参加いただき、様々なご意見をお聞かせいただきたいと思います。

1 開催時期

令和5年10月下旬から11月中旬を予定

2 班構成

班	議員氏名（議員番号順）		
A班	川村 真生	廣瀬 正明	西尾 祐佐
	山崎 司	平野 正	川村 一朗
B班	鳥谷 恵生	澤良宜 由美	前田 和哉
	寺尾 真吾	大西 友亮	上岡 正
C班	山下 幸子	上岡 真一	川渕 誠司
	松浦 伸	谷田 道子	宮崎 努

3 開催地区（12地区）

開催地区（担当班）		
具同地区（A班）	後川地区（A班）	中筋地区（A班）
大川筋地区（A班）	東山地区（B班）	下田地区（B班）
蕨岡地区（B班）	西土佐地区（B班）	中村地区（C班）
東中筋地区（C班）	八束地区（C班）	富山地区（C班）

ここを質す!

一般質問

質問順位	質問者	質問要旨	質問掲載ページ
1	鳥谷 恵生 (一問一答)	1 新型コロナワクチン 2 再生可能エネルギー 3 水産資源	4
2	川村 真生 (一問一答)	1 保育所でのマスクの取り扱いと業務負担軽減 2 子育て支援 3 学校教育	5
3	上岡 真一 (一問一答)	1 教育 2 生涯学習	6
4	寺尾 真吾 (一問一答)	1 下田中学校の再編 2 こども基本法に対する本市の対応 3 四万十市の将来	7
5	山下 幸子 (一問一答)	1 トンボ自然公園 2 食育 3 防災・減災の取り組み 4 観光復興に向けて	8
6	前田 和哉 (一問一答)	1 防災、減災対策 2 身近な情報局 3 今夏の暑さ対策	9
7	大西 友亮 (一問一答)	1 学校教育 2 ハラスメント対策	10
8	川村 一朗 (一問一答)	1 コロナ感染症 2 市営住宅の整備 3 エネルギー政策	11
9	松浦 伸 (一問一答)	1 楽しく、安全に四万十川で観光体験するために 2 選挙 3 食肉センター 4 子供たちの遊ぶ場を	12
10	谷田 道子 (一問一答)	1 だれもが投票できる環境の整備を求めて 2 マイナンバー制度についての検証が必要ではないか 3 会計年度任用職員の待遇改善を求めて	13
11	澤良宜由美 (一問一答)	1 本市の交通安全対策 2 帯状疱疹ワクチン 3 熱中症対策	14
12	川渕 誠司 (一問一答)	1 大学誘致とその後の動きに関して 2 南海トラフ地震から市民の命を守るために	15
13	廣瀬 正明 (一括)	1 飼い猫の多頭飼育の対策 2 クリスマスのイルミネーション 3 トンボ自然公園 4 四万十川学遊館 5 マイナンバーカード	16
14	上岡 正 (一括)	1 人口減少 2 新食肉センター建設 3 わさび栽培実証実験事業 4 大学誘致断念に伴う諸課題 5 文化複合施設 6 未利用公有地 7 県下一高いごみ袋	17

一般質問は6月19日(月)、20日(火)、21日(水)の3日間行われました。



・新型コロナワクチンについて ・風力発電、太陽光発電について ・水産資源について



↑一般質問の動画はこちらで見られます。

新型コロナワクチンについて

風力発電について

答弁 リサイクル施設を兼ね備えた中間処理業者は

答弁 市の独自調査を行っていないが、県が発表して

質問 予防接種健康被害救済制度を利用し、救済給付を申請した方の人数と認定数は

質問 今ノ山に大規模風力発電所ができ、高圧送電線が黒尊地域を通過する計画があるが、生態系への影響は

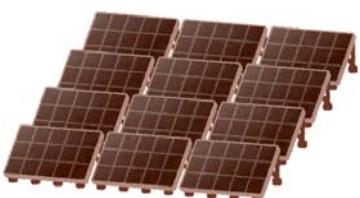
答弁 予防接種健康被害救済制度は、予防接種を受けたことにより、健康被害が生じた方に対し、医療費、医療手当などを給付し、補償を行う制度。市に寄せられた相談は7件あり、そのうち4件が市に申請が出された。

質問 2022年から超過死亡数が増加しているが新型コロナワクチン接種との関連についての見解は

答弁 厚労省の見解では、ワクチン接種が原因で超過死亡が発生したという科学的根拠は確認されていない。



太陽光発電について



水産資源に関する質問

質問 四万十川の漁獲量は昭和53年からの推移みると減少傾向が続いている。鮎・エビ・ウナギの直近3年間の漁獲量は



答弁 水産資源は全般的に減少傾向である。本市と四万十町5つの漁協で協議会を作っているが、今年から国・県の土木・林業・環境部門や有識者も含め総合的な対策ができる組織の設立をし着実な取組みができるようにする予定である。

質問 水産資源回復についての現在の取組と今後の計画は

答弁 市の独自調査を行っている、内水面漁業・漁獲調査の結果から令和元年は鮎15t、ウナギ2.5t。令和3年が鮎33t、ウナギ2.6t、令和2年は情報非公開となっている。エビは平成20年以降調査が行われていない。

川村 真生議員



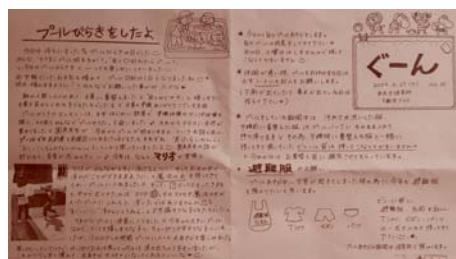
↑一般質問の動画はこちらで見られます。

・更に子育てがしやすい四万十市へ ・教科書の決定プロセスの現状



保育士の業務負担軽減について

子育て支援について



保育所からのお便り

質問 保育士の業務は多忙であると認識しているが、把握している中で大変だと考えられる業務内容や時間帯は

答弁 特に朝夕の送迎の時間、またお昼寝の時間には準備片づけをしながら書き類作成等があるため、この時間帯が特に多忙と認識している。

質問 雨天時に遊べる場所は、年間降水量が多い本市にとつてニーズが高く、子どもや保護者が過ごしやすい環境整備としても必要と考えるが見解は

質問 多忙を極める保育士の負担軽減策としてICTの活用ができないか

答弁 子育て世帯へのアンケートから雨天でも利用できる遊び場のニーズは高いと認識している。財政状況も踏まえて、今後は国や県による補助制度の新設や施設整備の機会があるよう情報収集に努めていく。

質問 旧中医学研究所の内部見学をした上で、屋内型の公園施設へ利活用することが可能であると感じたが、現段階の利活用案はどのような案が出ているか

答弁 屋内遊園地や産前産後ケアなどの機能を有する子育て複合施設への整備などの案が挙がっている。

教科書の採択について

質問 協議会の議事録や委員の公表は行っているか

答弁 文科省の検定に合格した全ての教科書の中から、都道府県教育委員会が設置する教科用図書選定協議会が調査研究した選定資料を参考にする他、独自に調査研究した上で選定し採択している。

質問 本市の教科用図書採択協議会に委嘱される委員の選定方法は

答弁 委員に関しては、学校教育について優れた見識を持つているもの、また教科についても専門性を有していることが必要なたれど、そのような職員を教育長が委嘱または任命している。

質問 教科書の採択期限は、当該教科書が使用される前年度の8月31日までに行うこととされ、教科書採択の公正確保の徹底のために8月31日までは公表できないが、それ以降については、採択結果やその理由を保護者や地域住民に示が可能となる。

質問 教科書の出版社はある程度選ばれた中から選ぶのか。それとも委員が推薦する出版社の中から選ぶのか



教育について 生涯学習について



↑一般質問の動画はこちらで見られます。

西土佐分校の支援について

学校の自転車利用生徒の自転車損害賠償責任保険への加入は努力義務と聞くが、義務化を求める

質問 西土佐分校は、来年度から「地域みらい留学」を導入し、県外からの生徒を募集することになるが、県外生徒が入学した場合でも本市としての支援策を

答弁 これまで、分校の青葉寮の運営の補助や、通学で使用する際の西土佐地域における路線バス等の運賃の無料化、又、青葉寮を希望しない分校生を優先した津野川若者住宅の整備、提供をしてきたが、来年度以降も、必要性を確認しながら、効果が見える支援を行っていきたい。

答弁 県の条例によつて加入が努力義務になつているため、教育委員会としてはヘルメット着用等の啓発と共に、学校を通じて各家庭への周知を行つていきたい。



自転車損害賠償責任保険について

トイレの洋式化について

質問 県外で小学生の自転車事故による損害賠償責任を9千500万円の賠償命令が下された事件等、事例があるが、本市の小中

質問 平成30年9月定例会の一般質問で、小中学校のトイレ環境を整備して、五割以上は和式から洋式にしてほしいと質問したが、進捗状況を聞く

答弁 宿毛陸上競技場の整備や公認継続に関する事は、今後、高知県の協力を得ながら幡多六市町村で協議していくことになる。幡多地域に公認陸上競技場が必要であると考えているので、必要な場合は整

宿毛総合運動公園陸上競技場について

答弁 令和2年9月時点では、本市29.7%であつたが、令和5年度当初では、64%となつていて

備等について一定負担していくことは、必要と考えている。

市立相撲場について



答弁 本市から、相撲の火を消さないよう、場所の選定を踏まえた方向性について、関係団体と、仮設校舎撤去の時期を見据えながら、協議を行つていただき。

質問 安並運動公園にあつた市立相撲場は、東山小学校の仮設校舎設置に伴い、取り崩されたが、大会等行うための相撲場設置の検討はあるのかを問う

寺尾 真吾議員



↑一般質問の動画はこちらで見られます。

下田中学校の再編 こども基本法に対する本市の対応



感謝と謝罪

質問 下田中の再編計画に対する評価は

答弁 これには様々な意見があり、評価は難しい。ただ、令和4年から校舎を移転し、教育環境は十分でないが、生徒の前向きな姿勢、教員の努力、保護者の協力により学校運営が成り立ち感謝する。しかし、中学校の大切な時期に、教育委員会が考える望ましい教育環境を与えるられず申し訳ない。

大学誘致のために はない

質問 他地区と同様に徹頭徹尾こどもたちの教育環境のための計画か

答弁 再編計画の目的は望ましい学校規模や、こどもへのより良い教育環境を与えること。下田中もこの目的に向け取り組んだ。大学誘致を進めるために取り組んできたものでは決してない。

保幼小中連携カリキュラムとは

質問 どのようなものか



答弁 重要なことはどのようないい育成像。ゆえに社会的自立を果たす成人年齢以降の姿に視点を置く必要があり、この時点で自立につながる力、新時代を生き抜いていくよう生涯学び続けられる力を目標したい。そのため18歳までの本市らしい育成方法を定めたい。

質問 カリキュラム実施について

答弁 18歳までを見通した育成目標の下に、各年齢段階での対応方針を策定し、関係機関間のスムーズな連携を図るもの。育成目標の共通化により家庭にわかりやすく伝わる効果もある。

質問 カリキュラムの内容が

答弁 家庭の協力と連携は不可欠。家庭で取り組んでほしい内容を整理し周知を図りたい。

こども計画は令和7年度を始期予定

質問 こども計画を作る理由

答弁 他の市と比べると18歳までの年齢設定は珍しい。これに対する本市の思いはなか

新時代を生き抜ける力を育てたい

定まっていなかったために支援事業はまだ想定し難いが検討する。

習い事に支援を望む保護者の声

質問 所見を

答弁 習い事を経済的理由以外で選択する家庭もあるため、子育て世代の公平感が得られない。ゆえに、現時点では考えていない。

将来課題は

質問 まち・ひと・しごと創生会議に「今こそ大なたを振るい、長期的に方向性を見据えない」と、子どもが安心して暮せる町になり得ないと強く感じる」という意見もある。

質問 子どものため解決しなくてはならない課題は

答弁 将来、地域社会に影響を与える社会構造的課題は少子化である。



トンボ自然公園(生物多様性の保全について) 四十万ふるさと給食について 防災、減災の取り組みについて 観光誘客と地域経済への波及について



↑一般質問の動画はこちらで見られます。

トンボ自然公園について

質問 今後のトンボ自然公園について本市の見解

答弁 国内外に誇れる貴重な地域資源であり、本市の価値を高めていると考えておりますので引き続き、誘客と維持管理に、努めて参りたいと考えております。



づけにもつながることと想い、指定管理者とともに申請に向けて進めていきたいと思っているところです。

食育について

質問 学校給食について今後は食育の大切さがますます重要であると考えられる。

答弁 本市の食育文化を継承しながら、体に良いと言われる青魚を使ったメニューを増やしてもらえないか

答弁 四十万ふるさと給食の取り組みや、生物多様性の保全といった観点からも自然共生サイトの趣旨、環境省の施策、方向性と合致しているものと考えます。また、登録することにより、市民の再認識や、意識

答弁 現在、安価と言われる青魚が高騰している状況ではありますが、栄養教諭とも相談しながら、可能な範囲で青魚の提供にも努めています。

答弁 今年度より、県が四十川上流部等などの浸水想定を作成しているところです。県とも情報を共有しながら更新時期について検討したいと考えております。

防災・減災の取り組みについて

質問 新しいハザードマップはいつ頃出来るのか



観光復興に向けて

質問 本市で初開催となる龍馬ワールドイン四十万

答弁 龍馬ファンの集いとして全国龍馬社中の取り組みとして年に一度開催されております。

答弁 今年度は本市で初開催となり、多くの方々に本市を知つてもらうことが出来、今後の観光誘客につながるものと期待しています。

質問 四十万市ふるさと給食の特徴を生かしながら、子育て世代の方々の移住にもつながる様な情報発信をお願いしたい

答弁 ペットを連れて避難される場合には、ケージに入れていただき、避難所内の空きスペースを要避難スペースとして使用することにしております。

質問 ペット同行避難を円滑にするには

前田 和哉議員



↑一般質問の動画はこちらで見られます。

◇防災・減災対策 ◇身近な情報局、コミュニティFM ◇今夏の暑さ対策

答弁 東日本大震災では着手までに大幅に時間を要したことから、人口減少などにより地域の衰退を招いた。生活再建や、なりわい再生を示す本計画は大変重要。

質問 対象地域や時期、また、やり方はどのように進め行くのか

答弁 下田、八束の2地区を対象に来年度から着手する。

答弁 防災組織の中でも防災士が活動することはとても重ね合意形成を図りたい。



ヘリを使った救出訓練

事前復興まちづくり計画について

自主防災組織と防災士について

も有用。

各組織に2名程度の受講者推薦を依頼している。

コミュニティFMについて

質問 南海トラフ大地震で津波災害の影響が甚大とされる、高知県沿岸19市町村で策定に取り組むとしているが本市の考えは

質問 本市の自主防災組織の活動は活発な所もあるが、されてない組織もある。市は積極的に行うよう勧めているか

答弁 みんなで備える防災対策補助金で資機材購入や学習会開催経費を補助しており、10年間申請のない組織には電話連絡して活用をすすめた。

答弁 不測の事態に備え情報伝達手段を多重化することは非常に有効であり、災害協定をすすめていくべきと考えている。

質問 普段、本市も番組枠を利用し、様々な情報を発信するべきと思うが見解は

答弁 放送対象エリアの市民の利便性向上に繋がる。経費、効果などを踏まえ、今後検討したい。

答弁 管理者が常駐する対応可能な公共施設を開設するよう取り組んで参りたい。

高齢者の熱中症対策

質問 全国の熱中症死者数の8割は体温調節機能が衰えた65歳以上の高齢者とされている。本市と呼びかけや対策をしてい

答弁 広報や防災無線で周知するとともに、地区的健康福祉委員会などで保健師等がパンフレットの配布や講話、扇風機やエアコンの適正使用、暑さに負けない身体づくりなどを直接伝えている。





学校教育とハラスメントについて



↑一般質問の動画はこちらで見られます。

校則について

質問

生徒指導摘要には教員が校則の意義を適切に説明できない校則は現状に合う内容に変更もしくは見直しを行うことが求められることがあるが、教員が説明できない校則等は見直す必要があるのではないか

質問

荷物検査については、また持ち物に名前を書いているか児童がそれぞれ責任をもってチェックをすれば良いのではないか

答弁 市単独では大変厳しいものがあると思う。知事との意見交換会等で訴えていきたい。

修学旅行の荷物検査について

答弁 市単独では大変厳しいものがあると思う。知事との意見交換会等で訴えていきたい。

質問 学校現場でのハラスメントや保護者等から精神的ダメージをおった際のフォロー状態はどの様になつてゐるのか

学校給食について

質問

給食の無償化については国も少子化対策の為に前向きに取り組んでおり、再度市として無償化にする考えはないか



ハラスメントについて

質問

ハラスメントを受けた職員に対して、心理的支援やカウンセリング等どの様に支援体制を整えているのか

答弁

ハラスメントにより、市に相談があつた場合は、市の教育委員会にハラスメント相談員を置いており、各学校にも校長が指名した者がしっかりと本人に寄り添う形で話を聞き解決の支援を行つていて。また、各学校の実情に詳しいスクールカウンセラーハラスメントへの相談や、ハラスメントに限らず体調を崩し長期休職となつた場合は、職場復帰に際し、県でもサポートシステムを設けていく。

答弁 毎年度、ハラスメントの研修を実施しており、基礎知識の向上や発生の防止に努めている。また、本人が気づかないうちに、ストレスを抱え込んでいる場合も考えられるので、年に1回はストレスチェックを行い、高ストレスと判定された場合は、本人の希望により産業医への受診を行うことができるようにしている。



川村 一朗議員



*市民が安心できる、5類移行後のコロナ感染症対策を! *四十市に住み続けられるように、市営住宅の改修を早急に! *原子力発電に関して、政府の危険な方針転換についての市長の見解は



↑一般質問の動画はこちらで見られます。

5類移行後のコロナ対策について

質問 現在の幅多地域や本市の感染者、死者数は。感染の相談窓口は

答弁 県のホームページに1週間ごとの保健所圏域の報告がされている。本市としては調査していない。相談窓口は幡多福祉保健所となる。

質問 市内どの病院でも、検査や治療が可能か。またその費用は

答弁 外来対応では市内15の医療機関が診療可能。費用は入院や高額な治療薬は9月末までは公費。その後は自己負担。検査は3割負担の方で、市民病院では抗原検査が3230円。PCR検査は4450円。

質問 高齢者施設や障害者施設でのクラスターへの対応や第9波に向けての対策は

答弁 施設でのクラスター対応については9月末ま

市営住宅の改修について



では国の支援が継続予定。10月以降は未定。重症化するリスクの高い高齢者や基礎疾患のある人へのワクチン接種は努力義務化されおり、接種機会の確保、接種等を行いたい。

原子力発電について

質問 これまで政府は福島原発の事故を受け、「原発依存を軽減する」「新增設は想定していない」としてきたが、今年2月に政府は閣議決定で原発回帰に大転換した。この大転換についての市長の見解は



伊方原発からの距離

では優先順位をつけて修繕をしている。用井住宅の夕イル、床面についてはできるだけ早急にしたい。やいろ荘については耐震補強が困難で用途廃止を計画している。西ヶ方の住宅については今後空き家が出た場合には耐震性等を考慮して修繕したい。教職員住宅については最低限の改修は隨時行ってきた。今後は需要と耐震性工事等に見合う存続が必要か検討が必要だ。



質問 放射性物質から体を守るために、以前は原発事故の際に、本市にも安定ヨウ素剤の備蓄が計画されていたが

答弁 運転期間の延長については有識者の議論を経たものであり一定信頼している。しかし、将来的には原発に依存しない社会の構築が必要だ。再生可能なエネルギーの普及を期待している。

質問 国の対策指針に基づいて、本市はヨウ素剤の服用を必要とする可能性が低く、現在備蓄している。



楽しく、安全に四万十川で観光体験するために 食肉センターについて 子供たちの遊ぶ場を



↑一般質問の動画はこちらで見られます。



質問 観光体験事業者としての許可制度について問う

答弁 観光遊覧船事業者については、海上運送法に基づき四国運輸局に届出、あるいは許可を受けて運行している。カヌーやサップなどの体験事業者については、河川の自由使用の範疇となつていていたため法的な制限はなく、河川利用における許可申請の必要はない。

質問 市の指定管理施設について問う

答弁 規定に基づき、指定管理者が安全対策マニュアル等を設けて安全運行に努めている。

質問 現時点での計画について問う

答弁 昨年7月に開始した基本設計業務で予定事業費の大幅な超過が見込まれると報告があり、期間を延長して細かいコスト削減に取組んでいる。基本設計業務は10月中旬の完成見込み。

質問 安全性の確保について

質問 安全基準について問う

質問 食肉センター更新について

質問 楽しく、安全に観光体験するために一定の安全基準を定める必要があると考える。本市の所見を問う

答弁 法令に基づくものがなく、誰もが自由に河川を利用できるということが大原則になつており、本市が独自に安全基準を定め指導していくのは難しいと考える。

質問 事業費の増加が見込まれる中、以前の報告にもあつた長寿命化の検討もされているのか

質問 四万十の森公園の有効活用も含めて、アスレチック公園に再整備できいか

答弁 四万十の森公園は公園整備を目的に整備したものではなく、現在は進入路となる林道を中心維持管理を行つていて、再整備には多額の経費を要するため、困難であると考える。



四万十の森公園の再整備を

施設の長寿命化は前提となつていなかが、昨今の資材高騰の中、県や関係市町村への整備費負担を求めるためにも建て替えの必要性をしつかり説明していく。

谷田 道子議員



*だれもが投票できる環境を求めて *マイナンバー制度は一度立ち止まって検討を *会計年度任用職員の処遇改善を求めて



答弁

まず高校で期日前投票を実施、技術的な問題が解決されれば商業施設もと考えている

質問 まず順番としては何をやられるのですか

答弁

2017年には確かに検討の答弁をしましたが、もう少し時間がかかります。順を追つてやつていただきたい。

質問

以前の質問に、期日前の移動投票は検討したいと選挙管理委員会の答弁がありました。具体的に検討はされたのでしょうか

質問

香美市や越知町、いの町では高齢者の投票を確保するために移動期日前投票が実施されています。

段がなく、結果として投票をあきらめている方への対策です。

移動期日前投票の検討を求めて

マイナンバーカードは大丈夫?

答弁 マイナンバーカードを持参して返納したいと申し出れば、返納できる。

質問 マイナンバーカードを返納したいという場合は窗口で対応できるのか

答弁

パソコンなどから国が運営するマイナポータルにアクセスし、カードを読み込みませ、暗証番号を入力して本人に関する情報が確認できるようになっている。

質問

不安に思っている市民が、自分の登録されている情報が正しいのか確認する方法はあるのか

マイナンバーカードは大丈夫?

質問 会計年度任用職員の期末手当の月数と国の基準は

会計年度任用職員改の期末・勤勉手当について



答弁 四万十市内の特別養護老人ホーム、障害者の入所施設と計7施設に問合せをした。入所者の保険証は、施設が管理している。マイナ保険証に統一された場合、施設での管理は7施設中5施設が管理は難しいと回答。残り2施設は困難との申し出がある。

答弁 期末手当は、総合的に勘案して検討したい。

質問 国に合わせて改善していく必要があるのではないか

質問 紙の保険証が廃止されカードのみになつた場合は、カードの暗証番号の管理が必要になる。施設の管理者は、入所者全員のカードと暗証番号を安全に管理することが求められる。

答弁 2カ月分となつていれば、高齢者施設や介護施設では、カードの暗証番号の支給月数を常勤職員のものを基礎とするよう努めることとされており、この考え方でいくと期末手当2・4カ月分、勤勉手当2カ月分となる。

答弁 期末手当は、総合的に勘案して検討したい。勤勉手当は、現在支給していないが、会計年度任用職員にも勤勉手当の支給を可能とする法律が本年5月に公布され、令和6年4月から施行となる。本市としても適切に対応したい。



↑一般質問の動画はこちらで見られます。

市議会だより

澤良宜由美議員



・本市の交通安全対策について ・帯状疱疹ワクチンについて ・熱中症対策について



↑一般質問の動画はこちらで見られます。

答弁 広報での周知や毎年5月を自転車安全利用促進月間として自転車マナーップキヤンペーンを実施するなど街頭啓発活動を実施している。

自転車利用者の安全対策について

質問 本市のヘルメット着用努力義務化の取組は

答弁 高齢者ドライバーに対する交通安全対策の一助になる為他の市町村や国、県の動向又は市民のニーズ等を今後調査したい。

質問 車の安全装置等の購入に対する補助はできないか

答弁 移動手段の減少があげられる。対策として高齢者免許返納サポート制度を推進している。

高齢者ドライバーの安全対策について

質問 免許返納後の課題は

質問 高齢者の自転車利用者に対してヘルメット購入の補助はできないか

答弁 ヘルメット着用の周知啓発に力を入れており、現状ではヘルメット購入費補助に関して検討はしていない。

帯状疱疹ワクチンについて

質問 ワクチン接種の周知や取組は

答弁 带状疱疹ワクチンは、予防接種法に規定される「定期接種」以外の「任意接種」の予防接種であり、医師の説明に本人が同意し接種することから、本市ではワクチン接種を推奨する周知は行っていない。

質問 带状疱疹ワクチンを助成できないか

答弁 一定の予防効果がある事は認識しているが、財政的負担も大きく又国においても定期接種化に向

本市の熱中症対策について

質問 本市の熱中症対策の取組は

答弁 環境省の熱中症サイトにおいて暑さ指数が34以上と見込まれた場合、防災無線とラインで注意喚起を行っている。

高齢者に対する熱中症対策について

質問 高齢者の熱中症に対する意識向上に向けての取組は

答弁 高齢者の方が多く集まる場所では、保健師等がパンフレットの配布や講話を通してこまめな水分補給の必要性や冷房機器を適切に使い暑さを避ける事の重要性など、直接高齢者の方にお伝えしている。

熱中症対策アドバイザーについて

質問 本市では熱中症対策アドバイザーの認識はあるか

答弁 熱中症予防声かけプロジェクトが取り組んでいる資格であり、各種イベントを開催する際の熱中症に対する準備や対策のスキル自身につける事が出来るものと認識している。



けて審議されている為、現段階では市独自の助成を行なう事は難しい。

質問 高齢者世帯に対するエアコン整備や点検を促す取組は

答弁 エアコンの点検や試運転、フィルターの定期的な掃除等熱中症対策のパンフレットに記載するなどをして高齢者の方に周知を図っていく。



↑一般質問の動画はこちらで見られます。

大学誘致とその後の動きについて 検証と総括、学生確保に関する検証、有効活用検討会 南海トラフ地震から市民の命を守るために 赤鉄橋は大丈夫か、津波浸水区域の保育所・学校の高台移転は



大学誘致の検証と 総括

質問 大学誘致の総括と検証の意義について市長の見解は

答弁 大学誘致断念に伴い生じている各事案について、個別に検証しながら対応していく。今回の反省にたち多くの方々に応援していただけた。総意をもつて進めていかなければならぬと考えている。

答弁 大学誘致断念に伴い生じている各事案について、個別に検証しながら対応していく。今回の反省にたち多くの方々に応援していただけた。総意をもつて進めていかなければならぬと考えている。

学生確保の検証

質問 毎年80名の定員確保が可能であると判断した根拠は

答弁 看護学部の入学志願倍率が高い水準にあること。京都看護大学が開学以来定員割れをしていないこと。学校法人の調査で定員の3倍以上の受験・進学者の意向があることなどである。

答弁 判断は変わっていたかもしれない。これについて市長の見解は

答弁 議会に隠していたつもりは全くない。これからも食肉センター等大きな事業があり、その都度議会にはしっかりと情報を示しながら進めていかなければならぬと思う。



現在の旧下田中学校校舎

赤鉄橋は大丈夫か

質問 赤鉄橋は南海トラフ地震に耐えられるのか

答弁 赤鉄橋は市の所管施設ではないが、管理者である県に問い合わせたところ、国が定める道路橋示方書に規定する耐震性能は満足していない。

津波浸水区域にある保育所・学校の高台移転は

質問 下田地区の子供たちが知事に届けた手紙を紹介した。「高台に戻して『命を守って』。この訴えも含め、高台移転に対する市長の見解は

答弁 レベル2地震動に対して落橋しない対策を実施するので、性能は確保できると考えている。

質問 昨年度から耐震補強工事に着手していることだが、終了予定の令和8年度には、十分な耐震性が確保されるのか

答弁 重要な課題の一つと考える。下田三地区区長の要望書についても検討会で議論され、方向性が出てくると思う。高台移転は市の単費では厳しく、時間がかかることについては承知願いたい。



↑一般質問の動画はこちらで見られます。



交流人口増加を目指して取り組みを強める

猫の多頭飼育の予防について



質問 昨年「かわらっこ」で行われたクリスマスのイルミネーションは好評であった

クリスマスのイルミネーションについて

答弁 これまで問題となる飼い主の情報提供があれば県と連携して指導を行っている。今後、多頭飼育の諸問題を広く周知するため定期的な広報等での啓発、チラシ作成等取り組んでいく。

質問 飼い主のいない猫の不妊手術等は所管課の取り組みで前進しているが多頭飼育についての取り組みは困難である。

答弁 まず、多頭飼育を予防するための啓発活動・広報活動が必要ではないか?

質問 飼い主のいない猫の不妊手術等は所管課の取り組みで前進しているが多頭飼育についての取り組みは困難である。

答弁 まず、多頭飼育を予防するための啓発活動・広報活動が必要ではないか?

質問 来客数増を目指して年々華やかにしていく取り組みが出来ないか?

答弁 予算等の課題もあり大規模にしていくことは困難と考えている。

トンボ自然公園について

質問 創意工夫を凝らしたイルミネーションに取り組むなど、市内外、県外からの集客に努めたい。

質問 クリスマスのイルミネーションにこだわる訳ではなく一つ一つの取り組みが集客力を持つことが重要と考へている。

答弁 これについて、考えを?

質問 給与体系は指定管理者が定めている。整備計画は、策定しないが指定管理者と連携共同のもと、適切に・計画的に管理に努める。

四万十川学遊館について



質問 年間2千万円以上の委託料が必要であり将来的には老朽化による修繕費も必要となる、市の負担にも限界があるのでないか?

質問 トンボ自然公園は憩いの場として開放している、学遊館も展示スペースを縮小して市民・観光客の憩いの場に出来ないか?

質問 現在の健康保険証が廃止されても代わりとなるものが発行されて医療機関の利用に支障がないと考へよいのか?

質問 発行に関わる市民の利便性向上についての考えは?

答弁 資格確認書というものになると考へているが、医療機関利用に支障はない、利便性についてはできる限りの取り組みを行つていただきたい。

健康保険証について



てきた貴重な展示物であることから慎重な協議が必要、利用者に感動・喜びを与えるように创意工夫した展示に努める。

上岡 正 議員



人口減少について市長に問う 新食肉センター建設について 大学誘致断念に伴う諸課題について 県下一高いごみ袋について



↑一般質問の動画はこちらで見られます。

人口減少について

質問

人口減少については、戦後最大の国難だと思っております。岸田内閣は、異次元の少子化対策をすると表明しております。少子化対策について市長のご所見と政策をお伺いします

いて、抜本的な対策は、国策として取り組むべきと考える。

答弁

四万十市でも少子化が進んでいます。令和2年度までは出生数が200人を切ることはなかつたが、令和3年度から令和5年度は、約170名という人数になつております。特殊出生率につきましても、令和2年度までは1・66人で高いレベルでありましたけれども、令和3年度には1・37人で下がつているのが現状です。就任以来、少子化対策については色々としてまいりました。本年度は、保育所給食の無償化や、子育て支援アプリ導入による申請手続きオンライン化等を実施しております。少子化、人口減少につ



新食肉センター

質問

新食肉センター建設については、大変重要と考え、今回で9回目の質問であります。今後のスケジュールについてお聞きします

答弁

新食肉センターが雇用や産業振興の面で重要な施設であることは県と共通認識を持っている。スケジュールに遅れが出ているが、県や関係市町村から相応の支援を得て、27年度に操業を一部開始し、28年度の本格稼働を目指す。

大学誘致断念に伴う諸課題

質問

大学に市の補助金として支出した3億1870万9918円は、大学に返還を求めるのか？

答弁

今、市の顧問弁護士に色々と相談をしております。弁護士との話の中で、法人側が認可手続等につきまして、適切な準備、段取りを行つていたのか。それらをしつかりと検証しないといけないとアドバイスをもらつております。

質問

工事費及び損害賠償金・補助金・付属工事等総事業費は幾らになるのですか？

答弁

断念した大学誘致で支出した事業費は、学校法人への補助金や旧下田中学校改修工事に約6億9880万円。今後の支出予定は、同校改修工事追加分2690万円と受注業者への損害賠償金2千万

円。関連経費として同校のプール解体約900万円。事など490万円もあり、合計約7億5960万円でございます。

ゴミ袋代の減額を

質問

県下市町村で、一番高いごみ袋代を下げるべきではないかと思います。政治的なご配慮を頂きたい

答弁

ごみ袋の減量化というのは、行政課題の一つではないかと思います。下げることによって、減量化に問題があると考える。地域によつては、ごみ袋を3倍にするとか、1袋200円で売るというような所も出ているようでございます。



政務活動費について

政務活動費とは、議員の「市政に関する調査研究、その他に必要な経費」の一部として交付されるものです。交付された政務活動費は、翌年度の4月末までに精算し、余剰金については返還されます。

※収支報告書に原則、領収書を添付しています。(収支報告書は市議会ホームページにも掲載しています。)

【令和4年度 政務活動費の交付、精算の状況】

(単位:円)

会派名	所属議員数	交付額	決算額	返還額	使途
市民クラブ	4人	660,000	204,478	455,527 (利息5含む)	調査研究費 202,478 研修費 2,000
日本共産党四万十市議団(※)	4人	720,000	593,698	126,305 (利息3含む)	研修費 6,180 広報費 104,712 資料作成費 22,992 資料購入費 103,660 事務所費 356,154
清流クラブ	3人	495,000	0	495,004 (利息4含む)	
公明党	2人	330,000	0	330,002 (利息2含む)	
新風クラブ	2人	330,000	226,179	103,821	調査研究費 226,179
四万十クラブ	1人	165,000	165,000	0	調査研究費 40,962 資料購入費 17,820 事務所費 124,097
政新会	1人	165,000	44,000	121,000	調査研究費 44,000
社民党	1人	165,000	165,000	0	広報費 216,720
計 8会派	18人	3,030,000	1,398,355	1,631,659 (利息14含む)	

※令和4年4月分は日本共産党四万十市議団のみ交付申請がありました。

【令和5年度 政務活動費の交付状況】

(単位:円)

会派名	所属議員数	議員名(◎ 代表者)	交付額(※)
日本共産党四万十市議団	4人	◎川渕誠司、川村一朗、谷田道子、大西友亮	720,000
市民クラブ	3人	◎上岡真一、山崎 司、寺尾真吾	540,000
清流クラブ	3人	◎宮崎 努、平野 正、前田和哉	540,000
公明党	2人	◎山下幸子、澤良宜由美	360,000
新風クラブ	2人	◎川村真生、鳥谷恵生	360,000
四万十クラブ	1人	◎上岡 正	180,000
政新会	1人	◎松浦 伸	180,000
社民党	1人	◎廣瀬正明	180,000
四万十立志の会	1人	◎西尾祐佐	180,000
計 9会派	18人		3,240,000

※ 算定根拠…1人あたり15,000円/月額×12ヶ月(令和5年4月～令和6年3月分)=180,000円

請願・陳情について

請願とは、国や自治体に意見や要望を述べることであり、請願権は憲法で保障される国民の権利です。

請願は、市議会議員の紹介により、書面で行われることとなっており、四万十市議会に対する請願は、四万十市議会会議規則の規定に沿って処理されることとなります。

受理された請願は、その内容を所管する常任委員会又は議会運営委員会において内容を審査し、委員会での審査結果が本会議において報告された後、採決で「採択」、「一部採択」、「不採択」等の結果が確定します。

陳情については、一定の事項に対し、利害関係を持つ者が実情を訴え、適切な対応を求めて国や自治体に要望を述べることであり、市議会議員の紹介を要しません。

四万十市議会に対する陳情は、その内容が請願に適合するものは、四万十市議会会議規則に基づき、請願と同様に処理することができるとしています。

請願書・陳情書の提出について

請願書・陳情書は、邦文を用いて、請願(要望)の趣旨、提出年月日、請願者の住所を記載し、請願者の署名又は記名押印のうえ、議会事務局に提出する必要があります。

※市議会への請願書・陳情書は、議長宛で作成する必要があります。

委副委
員員
員長長
鳥澤前上川宮大寺
谷良田岡村崎西尾
宣
恵由和真一 友真
生美哉一朗努亮吾

広報広聴委員会

今年も暑い夏がやつてきました。
これから夏本番です。市民祭や花火大会等、市内市外含めて多くのイベントが開催されます。
近年、新型コロナウイルス感染症の影響で様々なイベントの開催に影響が出ておりましたが、5類感染症に移行されたことにより、待ちに待った開催となるイベントもあるかと思います。
四万十市議会としても今回の議会だよりも書かれていますが、令和元年度以来、4年ぶりに「住民と議会との懇談会」が開催されます。
この取り組みは議員がそれぞれの地区に伺い、議会に対して様々な意見等を聞く場となっています。是非多くの住民の皆様の参加をお待ちしております。
今年も猛暑が予想されますので、体調等には十分お気をつけください。

編集後記

発行 四万十市議会（編集：広報広聴委員会）

〒787-8501 高知県四万十市中村大橋通4丁目10番地 TEL 0880-34-5071 FAX 0880-34-1827
お問い合わせ、ご意見等については「四万十市議会」まで

次回定例会は9月4日からの予定です。ぜひ傍聴にお越し下さい。

（西土佐総合支所では1階市民室で視聴いただけます）

※議会会議録は議会専用ホームページ（<http://city.shimanto.gsl-service.net/>）で閲覧できます。

※令和5年6月定例会会議録の閲覧開始及びホームページへの掲載は9月中旬の予定です。

[市議会のホームページは…]

URL:<http://city.shimanto.gsl-service.net/>

[You Tubeによるライブ中継・録画映像配信は…]

URL:<https://www.youtube.com/channel/UCuzoCoFLaedC06OQWPBRr5Q>

※市議会ホームページからもご覧になれます。

[市議会のフェイスブックは…]

URL:<https://www.facebook.com/Shimantoshigikai>

[市議会のLINEは…]

LINEの友達検索画面からID検索で追加！⇒市議会ID『@kco2522u』